

電気電子工学委員会
デバイス・電子機器工学分科会（第24期・第4回）
議事録

日 時 令和2年2月25日(火) 13:00～15:00

会 場 日本学術会議5階5-C(1)会議室

出席者 中野委員長、川原田副委員長、荒井委員、荒川委員、石原委員、植田委員、小野寺委員（スカイプ参加）、金田委員、国分委員（スカイプ参加）、澤木委員（スカイプ参加）、柴田委員、為近委員、波多野委員（スカイプ参加）、森幹事、大橋幹事、

議 事

1. 第24期・第3回電気電子工学委員会議事録案確認:
(ア) 承認された。
2. 総会・部会報告
(ア) 中野委員長より、今期の主な話題が、学術会議から提出される、“今後の展望2020”であり、この内容についての議論がされていることが説明された。3/30にこのシンポジウムが予定されている。
3. 電気電子工学委員会報告
(ア) 2月19日に開催された電気電子工学委員会の概要が中野委員長から説明された。委員会で提案された、資料2”電気電子工学関連学協会の協働に向けて”（アンケート）についての説明もなされた。
4. シンポジウム「21世紀社会における日本のエレクトロニクスを支える博士人材育成」報告
(ア) 森幹事よりシンポジウムの内容について説明があった。シンポジウムは、本委員会でも課題とされている電気系における博士後期課程への進学率低下を解消することを目的に開催された。シンポジウムでは企業・大学教員・学生という3つの立場からの講演を頂き、パネル討論会で意見交換が行われた。また、講演で話された大阪大学での取り組みに関する最近の進捗も紹介された。
5. 「日本の展望2020（仮称）」原稿について
(ア) 2002年の「日本の計画—学術により駆動される情報循環社会へ」と2010年の「日本の展望—学術からの提言2010」に続くものとして、来るべき日本の未来社会を予想して、学術が果たすべき役割を論じるものとして、「日本の展望2020（仮称）」が企画されている。
(イ) 「日本の展望2020（仮称）」では、現在私たちが抱える課題を抽出し、これから10年後、30年後の日本社会の見取り図を描くこととして、9つの各論が述べられるが、その一つとして、“日本の学術の展望”の中で“高度化する社会における知的人材”というテーマで博士課程の課題について記述することとなった。内容は、昨年3月に行われた本分科会シンポジウムの議論を参考にして中野委員長が執筆することが説明され、意見交換した。

配布資料

第4回議事次第

資料1：第24期デバイス・電子機器工学分科会第3回議事録（案）

資料2：電気電子工学関連学協会の協働に向けて

資料3：シンポジウム概要

資料4：日本の展望2020原稿（抜粋）

以上